

チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



発行者:校長 岡田 達也

～ えがお かがやき がんばる 学校 困うえんだん「チーム北川」～



運動会練習を通して学んでほしいこと!

～ できることを最後まであきらめずにがんばろう! ～

運動会練習も、いよいよ大詰めを迎えています。それぞれの学年で、本番に向けた練習に熱が入ってきました。担任はもちろんですが、子どもたちも。

当たり前のごとで、みなさん既にご理解いただいていることかもしれませんが、本校が運動会を学校行事として教育活動に位置づけている理由をお伝えします。

- ①運動に親しみ、その楽しさを味わう中で、体力や運動技能の向上を図る。
- ②子ども自らが主体的・積極的に参加することを通して、集団行動のルールを守る態度を養う。
- ③集団演技への取組を通して、集団で創りあげる喜びを味わうとともに、仲間と助け合いながら粘り強く取り組むことの大切さを体験的に学ぶ。

体育の時間の学習を基本に、一人ではぜったいに味わうことができない集団の力や集団のすばらしさ、仲間と力を合わせることの喜び、そしてやり遂げることの苦しさ、それを克服したあとの達成感や充実感など、しっかりと体験を通して学んでほしいと願っています。子どもも、大人も、同じ目的をもった仲間がいるからがんばれる、支えてくれる人がいるから乗り越えられるのです。

私としては、せっかくの運動会練習、子どもたち一人一人が自分で考えて行動する態度、自分以外の子のがんばりに気づき応援しようとする気持ちも、併せて育てていきたいと思えます。

「自分のこととして」考えることが大切です!



先週の金曜日に続いて、13日(水)の3校時に全校で薬師踊りを練習しました。お忙しい中、北川盆踊り保存会の14名の方々がご指導に来てくださいました。この日は、始めに薬師踊りの由来等をお話しいただき、練習に臨みました。

保存会の方の楽しく踊ってほしいとのお言葉もあり、子どもたちは運動場いっぱい、元気いっぱいに踊っていました。中には、大きな声でかけ声をがんばる子も。2回目ともなると、踊りも上手になっていました。また、お話の聞き方も前回よりレベルアップしていました。

薬師踊りがいつから始まったのか、どんな思いで踊ったらいいのかなどを教えていただいたことで、少しずつ自分のこととして考えることができました。私もそうですが、大人でも自分のことを第一に考えてしまいがちです。しかし、保存会の方(他者)の思いや願いを知り、それを理解する中で、自分との関わりを意識するようになり、自分のこととして考えるようになります。

次代を担う子どもたちには、グローバル化の進展により、異なる文化との共存や国際協力の必要性が増していきとされています。だからこそ、「自分には関係ない」と割り切るのではなく、自分のこととして考え、自分にできることに進んで取り組む子どもに育ってほしいと願っています。